

1 開会

2 会長挨拶

省略

3 本日のスケジュールについて

《会長》

始めに、事務局より本日のスケジュールについて説明願います。

《事務局》

それでは、本日の日程等について説明いたします。

次第の1ページにありますタイムスケジュールにそって1教科ごとに入室していただき別冊1「小委員会調査報告書」に基づき各教科書の調査・研究結果の報告をいただきます。各教科の報告をすべて受けたのち、教科ごとに採択を行ってまいります。

別冊2には前回小学校用教科用図書を採択した議事録を掲載しております。

次第の2ページに現在使用している小学校用教科書一覧、3ページに中学校用教科書一覧を掲載しております。

4ページからは各市町村における教科書展示会の開催状況と、寄せられた意見を掲載しておりますので参考としながら進めていただきたいと思いますと考えております。

全教科の採択が終了しましたら、事務局より各市町村・教育委員会における採択手続、学校教育法則第9条の規定に基づく採択手続、情報公開等について説明を行い全体の終了と考えております。

《会長》

説明に対して質問等はございませんか？

《委員》

質問なし。

《会長》

それでは各教科の報告者からの報告をしていきたいと思っております。

4 調査・研究結果報告及び教科用図書採択

別紙のとおり

《理科》

(1) 報告

調査研究の経過及び概要について(調査報告書のとおり)

(2) 質疑

○今回からプログラミング教育を取り扱っているが、その取扱いの分量や工夫などについて特徴はありますか。

⇒実験でまとめる中や、考察の中、教科書の発展的な問題の中でプログラミング的な学習をやりましょうとすべての教科書にありました。

○今回から各教科書、一部を除いてQRコードがついているものが多いが、この辺の差はありますか。

⇒例えば、上皿天秤の使い方について動画が出てくるというものがありませんでした。教育出版については、この他に「深い学習」というキーワードで、コンテンツの中で学習を深めるようなホームページを作っているところもありました。

基本的には、実験の技能についての内容が多かったです。

○教科書のサイズが違うものがあるが意見はありましたか。

⇒A4サイズの教科書については、原寸大の画像が多く、低学年で物を比較する場合は原寸大のものがいいのではないかという意見がありました。

(3) 協議

○各社大きな差はない。

○特に理科と生活科との関連を考慮した方が良くはないか。

(4) 採択

○生活科との関連性を考慮する。

○QRコードの活用により、児童の学習を深める内容など工夫がされている。

このような理由から、「教育出版」とする。(全会一致)

《音楽》

(1) 報告

調査研究の経過及び概要について(調査報告書のとおり)

(2) 質疑

特になし。

(3) 協議

○どちらの教科書も取り扱っており、大きな差異がなく、学年に応じた学習内容が取り上げられている。

○どちらも北海道民謡など、北海道の題材を取り上げ、児童の興味関心を高める工夫がされている。

○教育出版は楽譜を見る力を育むことができる。また、巻末にある「音楽のおくりもの」は全校合唱にも対応することができる。

○分量について、どちらも増加しているが児童の負担を考慮したい。

(4) 採択

○各学年で、北海道に関連のある内容を取り上げており、学習意欲を高める工夫がされている。

○教科として音楽のみではなく、英語の曲を取り上げるなど他の教科との関連付けにも工夫されている。

このような理由から、「教育出版」とする。(全会一致)

《保健》

(1) 報告

調査研究の経過及び概要について(調査報告書のとおり)

(2) 質疑

○健康を損なうものについて飲酒、喫煙がありますが、ゲームに関して記載された教科書はありますか。

⇒記憶する中ではなかったと思います。

○総ページ数について高学年でバラつきがあり、東京書籍だけ多い印象があるがそのような話はありませんか。

⇒他のものより十数ページ多いが、心の悩みや心の健康についての部分が非常に厚くなっています。順序立ててあって非常にわかりやすい構成になっています。

○QRコードがついているものが5者のうち2者あるが差はありますか。

⇒デジタルコンテンツの資料が描かれていて、例えば手の裏にばい菌がついている様子をシャーレに置き換えて培養してどう変化していくかを見せられるコンテンツで理解が深まる内容でした。

○AEDについての記載が東京書籍にはあったが他にもありましたか。

⇒AEDだけに着目はしていなかったのではありません。

○緊急の対応について小学校の高学年くらいで対応できる知識があればと思うが、各教科書での違いはありますか。

⇒流れの表記方法やキャラクターの違いはあるが、大きな差異はないように思います。

(3) 協議

○総ページ数にバラつきはあるが、どの教科書も身体的な健康だけでなく、心の健康に関する記述が載っている。

○デジタル教材が充実し、学習意欲を高める工夫がされている。

(4) 採択

○心の悩みや心の健康について、多く取り上げられており非常にわかりやすい構成となっている。

○AEDに関する記載があり、緊急時の対応を順序立てて説明するなど、児童の学習意欲を高める工夫がされている。

○発育の単元において、ゲームやパソコンによる睡眠への影響に関する記載がある。

○児童が親しみやすい内容で、児童が主体的に学べる工夫がされている。

このような理由から、「東京書籍」とする。(全会一致)

《国語》

(1) 報告

調査研究の経過及び概要について(調査報告書のとおり)

(2) 質疑

○4者のうち2者が分冊で、東京書籍は厚さが結構ある。子どもたちにとってはどちらが使いやすいですか。

⇒昨年あたりからランドセルの重さの問題が出てきて分冊の方が楽ということがある。

一冊になっているものは、もともと分冊だったが、1年を通して学習の見通しが持てるということで一冊になったのではないかと思います。

○近年、読解力が弱くなっていると聞かすが、国語の教科書の中で読解力に対して配慮されている部分はありますか。

⇒読み解くという部分で読むというところはそれぞれで工夫がされています。特徴的なのは、一つは主体的に読めるというところで、わからないところがあればそのページをたどっていくと調べることができたり、後ろに載っている漢字のページが自分の読むページに載っていたり、親切・丁寧になっています。

(3) 協議

○質疑の中で、国語と書写は関連があり、同じ出版社を選択したほうがよいと考える旨意見があった。

○内容に大きな差異はない。

○読解力を高めるという観点は他の教科でも通じてくることから、読解力に配慮されている教科書を用いた方がよいのではないかと。

(4) 採択

○児童の負担を考慮し、分冊の教科書を採用し、きめ細かな学習活動が行える。

○読解力への配慮もされており、主体的に読め、親切・丁寧な内容となるよう工夫されている。

このような理由から、「教育出版」とする。(全会一致)

《書写》

(1) 報告

調査研究の経過及び概要について(調査報告書のとおり)

(2) 質疑

○書写は(国語と)同じ出版社である必要はありますか?

⇒国語との関連は重要であり、国語と共通する出版社は、関連した教材を掲載するなど配慮されていることから、同じ出版社とした方が児童の学習意欲を高める効果はあると思います。

(4) 採択

○硬筆と毛筆の関連で「振り返り」を設定するなど書く能力の基礎を身に付ける工夫がされている。

○国語と書写の内容について関連があることから、同じ出版社とする。

このような理由から、「教育出版」とする。(全会一致)

《家庭科》

(1) 報告

調査研究の経過及び概要について(調査報告書のとおり)

(2) 質疑

○主体的な学びをするにあたっては、どのような意見が出ましたか。

⇒詳しく写真も多く鮮やかで、例えるなら図鑑を読んでいるような楽しさがある教科書だと主体的な学びになると意見が出ていました。ただ、多くの人数で一斉に授業をする場合や、それをかみ砕いて説明し理解させていくということを考えた場合、情報量が多すぎるかもしれません。

○開隆堂出版の教科書の巻末に、言葉のページというのがあって英語で書かれていますが何か意見は出ましたか。

⇒どちらの教科書にも家庭科だけの単元だけでは終わらない、他の教科の繋がりを意識して載っていました。開隆堂出版の方はページの下に英語の単語や、地域の違いによる豆知識みたいなページ、グローバル的な視点の世界の様子なども載っていて、いい点だという話は出ました。家庭科だけでなく、より理解や視点を広げて勉強していく場合は、見やすい方がいいのではないかという意見は出ました。

(3) 協議

○開隆堂出版の方がコンパクトで使いやすい。

○東京書籍は情報量が多く、大人になっても活用できる。

○主要教科以外は版が大きい方が見やすい。また、積極的に係ることができるような教科書が良い。

○教えやすい、学びやすいという観点から考えた方が良い。

○全国レベルを考慮しても良いと思います。

(4) 採択

○家庭科だけでなく、英語の単語などを掲載し、他の教科との繋がりを意識したつくりとなっており、児童の学習意欲を高める工夫がされている。

○児童の実態を考慮し、内容がコンパクトで、ポイントに目が行きやすく、児童が積極的に授業に参加でき、学びやすい教科書とする。

このような理由から、「開隆堂出版」とする。(全会一致)

《外国語》

(1) 報告

調査研究の経過及び概要について(調査報告書のとおり)

(2) 質疑

○東京書籍の「Picture Dictionary」については何か意見は出ましたか。

⇒「Picture Dictionary」については枝幸町と猿払村のALTで使用されているということ意見は出ました。

○小学校の時から辞書を持っていた方が中学校や高校に行ったときに参考になるのではないかと思うが、それについて意見はありましたか。

⇒ありませんでした。

○中学校で使用している教科書との関連性という面で、異なる出版社を選択した場合、影響があると思いますか。

⇒同じ出版社だと関連した教材を掲載するなど配慮されていることを考えると、異なると影響はあると思います。

○複式の授業の中で英語はどうするかという話は何か議論になりましたか。

⇒具体的には議論はありませんでした。

○初めての教科化ということで、教える側に配慮されている教科書はありますか。

⇒伝えたいことがベースとなっているニューホライズン、今までとのつながりという意味ではワンワールド。

(3) 協議

○Picture Dictionary(東京書籍)について、他の出版社にはない特徴がある。

○東京書籍は紙面が上中下に分割され、カリキュラムマネジメントを意識した構成になっており、初めて教える先生にも配慮されている。

○学習の流れがコンパクトにまとめられている方がよい。

○東京書籍は小学校英語について複式学級のための指導計画書を作っている。宗谷のような地域のことを考えた作りであると感じる。

(4) 採択

○他の出版社にはない補助教材を活用することで、児童の学習意欲が高まる工夫がされている。

○複式学級のための指導計画書を作成し、地域の特性にも配慮されている。

○学習の流れが段階的に示されており、児童が学びやすい工夫がされている。

○カリキュラムマネジメントを意識した構成になっており、初めて教える教師へ配慮されている。

このような理由から、「東京書籍」とする。(全会一致)

《道徳》

(1) 報告

調査研究の経過及び概要について(調査報告書のとおり)

(2) 質疑

○今使っている教科書は採択して間もない東京書籍の教科書ですが、何か使いづらいとか、新しい版になった時に課題等が改訂されているとか、何か意見はありましたか？
⇒ありません。

(3) 協議

○前回採択されてから2年しか経過していない。
○現状として、採択されてからの問題はないと感じている。

(4) 採択

○「命の大切さ」について実感したことや、どのような気持ちが必要なのかを考え、話し合う活動等が取り上げられている。
○各学年において、北海道に関連のある教材が取り上げられており、学習意欲を高める工夫がされている。
○採択されて2年で、継続して使用し経過を見るのが望ましい。

このような理由から、「東京書籍」とする。(全会一致)

《特別支援》

(1) 報告

調査研究の経過及び概要について(調査報告書のとおり)

(2) 質疑

特になし

(3) 協議

○新たに掲載された10点については、どれも児童が興味・関心をもって学習に取り組めるよう配慮されており、すべてを採択すべきである。

○児童の実態・特性に応じた指導をするため、選択肢は多い方が望ましい。

(4) 採択

今回新たに調査・研究をした10点全てを採択する。(全会一致)

《社会》

(1) 報告

調査研究の経過及び概要について(調査報告書のとおり)

(2) 質疑

質疑なし。

(3) 協議

○6年生の教科書で分冊の方がやりやすいのか。

○分冊は専門的に特化していることから教えやすいのではないか。

○東京書籍の方針には一貫性がある。

○東京書籍は教科書を見たときに、今日は何を勉強するのか見てわかり、子どもたちも意識して学びに入れるのではないか。

(4) 採択

○「まなび方コーナー」の設定など、学習の流れを意識して構成されており、先生・児童ともに配慮がされている。

○児童の学習意欲を高める工夫がされている。

このような理由から、「東京書籍」とする。(全会一致)

《地図》

(1) 報告

調査研究の経過及び概要について(調査報告書のとおり)

(2) 質疑

○東京書籍の北海道の部分でアイヌ語の地名、今の地名、アイヌ語の意味とあるが、これは以前からありましたか。

⇒以前はありませんでした。今回はアイヌ語の由来の地名ということで載っています。

○稚内や利尻が載っていて非常に北海道を強く意識していると思ったが、こうなった背景、なぜアイヌ語が出てきたかわかりますか。

⇒自分たちが住む地域の歴史をしっかりと理解して教科書になっているという観点から、地名の由来というのは重要度を増してきているといった背景があると思います。

○空知総合振興局や留萌振興局と書かれていて、北海道は他の県との違いを随分と意識されています。調査委員の中でそういう経緯に対して意見はありますか。

⇒特にその辺が強く反映されたかというのはわかりませんが、地図帳も教科書もその地域の子どもたちを意識した構成になっているとは思いますが。

○地図で北海道に関することがかなり出たが、社会科の教科書での取扱いに特徴はありますか。

⇒北海道に関する記述は3者とも扱っています。どの教科書も北海道を意識した部分も盛り込んでおり、どこかで北海道を意識させるような作りになっています。

課題解決的な学習、問題解決的な学習はとても社会科で大切な学習になってくるが、どの会社も重要なところに位置付けています。

(3) 協議

○東京書籍の地図は振興局と総合振興局の区別、アイヌ語の地名が出ている。稚内と利尻の地名の由来も出ている。

○北海道の行政区域は振興局がある。県にはなく、北海道の特徴を端的に示している。

○東京書籍の地図帳について、北海道に関する記述が充実しているのではないか。

(4) 採択

○地図帳について、アイヌ語や振興局など北海道の特徴が記載されており、児童が興味・関心を抱くよう工夫がされている。

このような理由から、「東京書籍」とする。(全会一致)

《生活》

(1) 報告

調査研究の経過及び概要について(調査報告書のとおり)

(2) 質疑

○今回の改定で内容の取扱いで配慮すべき新たな事項として、言葉や絵、動作、劇化など多様な方法が追加されました。各社の取扱いの特徴について、どのような意見がありますか。

⇒取扱いの内容の活動例ですが、どれも自分の生活、学びの地域、人と密接に関係づけられていて、非常に質の高い学習環境が位置付けられています。

どの教科書も良質ないい活動が取扱い内容で示されているように位置付けされています。

○社会と理科総合とつながるということだが、出版社については社会、理科と異なっても問題はないという解釈でよろしいでしょうか。

⇒生活科が最終的には上の学年で細分化されて社会と理科になったりしていくと促しており、問題はないと思います。

(3) 協議

○各社ともに、特徴的な差異は少ない。

○学習者用にデジタル教科書の発行が予定されている教科書がある。

(4) 採択

○理科・社会科とのつながりを意識するなど、児童の学習意欲を高める工夫がされている。

○文字や記号など読みやすい排列とするなど工夫されている。

このような理由から、「教育出版」とする。(全会一致)

《図画工作》

(1) 報告

調査研究の経過及び概要について(調査報告書のとおり)

(2) 質疑

特になし

(3) 協議

○安全に配慮して学習できるような工夫が必要である。

○児童の活動写真や作品の写真を多く掲載されている方が、活動内容をイメージしやすく、想像の幅を広げるきっかけになるのではないか。

(4) 採択

○自然に親しむ内容が盛り込まれており、宗谷の特性を生かした学習活動が行える。

○各年代において学習課題を設定し、主体的・対話的で深く学ぶ工夫がされている。

このような理由から、「開隆堂出版」とする。(全会一致)

《算数》

(1) 報告

調査研究の経過及び概要について(調査報告書のとおり)

(2) 質疑

○5年生の正多角形の単元や、6年生のプログラミングについて取り上げられているが、各社の取り上げ方について意見はありましたか。

⇒それぞれプログラミングについては特徴がありました。5年生の正多角形の作成についてはどの出版社もプログラミングを使って作成するようになっていました。その他の部分については出版社によって扱う内容が違っていました。スクラッチというフリーソフトを用いているのが日本文教出版。啓林館についてはスクラッチ版とオリジナル版の両方で学習できるように準備がされていた。残りについては、オリジナル版を用いて子どもたちが主体的にできるようなプログラミングの準備がされていると思います。

○東京書籍の教科書で1年生だけ大きい。他の教科書と違うが調査委員会で意見はありましたか。

⇒その部分について、特に意見は取り交わされていません。

○宗谷管内では算数・数学の学力状況調査ではあまり良い結果が出ていないことに関して意見は出ましたか。

⇒意見は出ていませんが、どの教科書も工夫されており、しっかり読み込んで授業を行えば問題はないと思います。教科書を変えることによって、新しいことを学び直さなければいけないという気概を持って、教材研究に励むなど効果が生まれると思います。

○各教科書の6年生の最後に、まとめ、補充問題があるが、調査委員会の中で意見は出ましたか。

⇒中学校への接続を十分に意識して作られているという話は出ていました。中学校に上がる前に小学校の総復習をしっかり取り組ませるという意図が感じられる。

○まとめの問題のレベルに違いがあると感じた。総復習の問題で工夫して問題を作っているなという意見は出ましたか。

⇒意見を交わすということはありませんでした。

ただ、出版社によっては扱っている問題のレベルに差異があると感じました。

○地域の特徴として、複式教育を持っているのでそれに対しての支援、指導計画書を提供してくれるような情報はありますか。

⇒ありません。

(3) 協議

○宗谷管内の学力状況調査では、なかなかいい結果が出ていないことを考えて、変更してもいいのではないか。

○学力を少しでも前に進める教科書を選んだ方が良いのではないか。

○算数の問題を解くには読解力が必要。東京書籍は深く問題を考えさせて、算数の奥の深さとか楽しさを自然と身に付けていけるような場面もある。

○東京書籍(さんすうのとびら)の導入部分がとてもよい。これなら算数嫌いにならないよという意見もある。

(4) 採択

○学力状況調査の結果を考慮し、全国的なレベルに近づけるような教科書とする。

○1学年の分冊により、算数の導入部分に効果が期待できる。

このような理由から、「東京書籍」とする。(全会一致)

《道徳以外の中学校用教科用図書》

(1) 協議

○道徳以外の中学校用教科用図書について、新たに文部科学省の検定を受けたものがなく、北海道教育委員会の採択基準にあるとおり、平成27年度の調査研究の内容を活用することも可能とされている。

○令和3年度の学習指導要領改正に伴い、令和2年度も中学校用教科用図書は採択を行うこととなっているため、本年の採択教科書は1年間の使用となる。

(2) 採択

○現在使用している道徳以外の小学校用教科用図書については、平成27年度の教科用図書採択において、同年の調査研究結果をもとに適切に行われている。

○平成28年度から現在までの使用実績についても良好であることから、前回の採択理由を覆す理由はないと考える。

このような理由から現在使用している教科用図書と同様とする。(全会一致)

5 採択にかかわる諸事項

《会長》

事務局より採択にかかわる諸事項の説明をお願いします。

《事務局》

(1) 各市町村教育委員会にける採択手続きについて

「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条」で「当該採択地区内の市町村の教育委員会は、協議して種目ごとに同一の教科用図書を採択しなければならない。」と定められていることから、令和2年度から使用する小学校用教科用図書及び「特別な教科 道徳」を除く中学校用教科用図書については、今回の協議会での決定に基づき、各市町村教育委員会において、同一の教科書を採択する手続きを進めてください。

採択期限は8月31日までとなっております。

また、令和2年度に使用する中学校用教科用図書、「特別な教科 道徳」については、同法律により「政令で定める期間、毎年度、種目ごとに同一の教科用図書を採択するもの」とされていることから、令和元年度と同一の教科書を使用する手続きを進めてください。

(2) 学校教育法附則第9条の規定に基づく採択手続きについて

「学校教育法附則第9条」により、特別学級の児童・生徒については、別の教科用図書を使用することができることとなっています。

新たに加えられた10冊の一般図書の調査・研究報告を踏まえ、北海道教育委員会発行の「令和2年度使用小・中学校特別支援学級教科用図書(一般図書)採択参考資料」に掲載されている図書すべてを採択する手続きを進めてください。

(3) 情報公開について

「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律の一部を改正する法律」及び「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施工規則の一部を改正する省令」により、各市町村教育委員会において、採択後に公表すべき事項が定められていますので、適切に情報公開していただきますようお願いします。

公表すべき事項にかかわって、協議会において選定した教科書の種類、採択理由、調査委員会報告書については、事務局より各市町村へ採択結果の通知の際にデータをお送りする予定ですので申し添えます。

公表時期は9月2日を予定しております。

《会長》

事務局からの説明に質問等はないか。

《委員》

なし(了承)

閉会

※採択・協議前に交わされた各委員からの意見を参考に掲載します。

【意見交換】

《会長》

報告は全て終わりました、これから教科用図書の採択に入っていきますが、各委員の感想、意見を話していただきたいと思います。

《委員》

理科の教科書について、以前から意見があり議論が必要。
外国語は新たな採択ということで皆さんと議論していきたい。
算数についても、宗谷の弱い点でもあるので、しっかりと議論を行いたい。

《委員》

プログラミング教育の中の教材を使用する場面があって、無料のソフトを使ったり、そうでないソフトを活用したり取り組み方が学校によって対応が異なってくるのかなと心配がある。
理科についても報告を受けたがこれまで通りでいいのか疑問が残っている。

《委員》

どの教科書にも甲乙つけられない。ただ、教科書の全国的なシェアも考慮したい。
特に主要5科目の中の何教科かは考慮してもいいのかなと考えている。

《委員》

印象がよさそうな教科書はある。
外国語に関しては、今回選ぶと令和2年度から使い、中学校の英語も考慮しながら、使いやすいいものを選んだ方がいいのかと考えている。

《委員》

外国語の付録をどう用いていくのか。
道徳は物語が多くて、自分としては良いこと悪いことというのを、みんなで話し合いながら取り組める教科書を選択していく方が良いと考えている。

《委員》

回数を重ねるごとに中身もデザインも改良され、きれいな教科書だと印象を持っている。
どの教科書が採択されても先生方にも配慮されている部分も考慮したい。
報告内容のニュアンスとして変えてもいいのかなと感じた教科については、皆さんと議論をして変えていくことも考えている。

《委員》

各教科とも客観的に調査研究されているが評価的なものをもう少し出してもいいと感じた。

この教科書を使いたいという思いはあると思うが、客観的に公正に評点化したものを参考数値として、この協議会に出してもらった方がいいと感じた。

《委員》

日本の教科書は非常にカラフルで工夫されている。

今回決めた教科書を何年間か管内の子どもたちが使うことになることから、管内の児童・生徒にこういう力をつけさせるためには、この教科書が一番いいのではないかということで決めていかなければならない。

《委員》

学習指導要領に沿って作られているので、内容については申し分ないと考えている。

算数で言えば教科書によって問題のレベルが異なっていて、今の子どもたちの現状を考えると標準的なレベルの問題が載っている教科書を選ぶのか、もう少しレベルの高い問題が載っている教科書を選んで子どもたちを伸ばしたいと意気込みを持つのか。

今の学力の状況を見て、ここで教科書を変えて新しい問題をやって学力を高めるために算数教育をどうしようかと先生方にも考えてもらいたい。そのためには大きな変化も必要ではないかと考えている。

もう一つは英語。Picture Dictionaryは必要な単語はほとんど網羅されており、見ているだけで今後も活用することができる。小学校の2年間で辞書は英語にとって必要であると思ってもらいたい。どの教科書を使うのかによって子どもたちの意識は違ってくる。

《委員》

子どもたちが自分たちで教科書を見て、自分で理解して身につけていくのがベスト。コンパクトで見やすく子どもたちが自ら勉強しやすい教科書をポイントとして選んでいきたい。

令和元年8月20日

議事録署名人 日野孝英

